



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成31年2月15日

第14号

発行 豊田中学校

## 校長講話「“たくましさ”とは」

3学期の始業式で、本校学校教育目標にある「たくましさ」ってどういうことだろう、と皆さんに聞かれました。そして、1人1人が考えて、各クラスで話し合ったり、日記に書いたりして、その考えを聞かせてくださいとお願いしました。担任の先生から皆さんの考えを届けてもらったので、ここで紹介したいと思います。

すべては紹介できないので、たくさんあったキーワードをあげてみますね。

強い気持ち 最後までやりぬく 流されない

自分の考えをもっている 立ち向かう勇氣 挑戦・チャレンジ

自分で考えて行動 自分の意見を言える など

私も、皆さんの考えと同じです。ぜひ、このような姿を目指してほしいと思っています。そこで意識してほしいことがあります。

志は、文字の中に「心」が入っていることからわかるとおり、精神面や心、考え方などの面が強いように思うのですが、「たくましさ」を考えると、それを行動に移すことの大切さが浮かび上がってくるように感じます。あるいは、行動に移すための強い意志とも言えます。

皆さん、振り返ってみてください。今持っている「志」にかかわってどんな行動をしていますか？志には、信条、目標・将来像、目指す未来社会の3つの側面があることは何度もお話ししました。信条については即行動に結びついています。目標・将来像、目指す未来社会に向けた行動はできていますか？行動しなければ結果は出ません。行動すれば結果が出ますが、成功ばかりではありません。失敗することもあるでしょう。

家電メーカーのパミュダの寺尾社長は、「失敗だけが私たちに強くしていれる」と言っています。つまり、行動することがたくましさにつながっていくのです。つまり、失敗を恐れない挑戦です。

1/26、テニスの全豪オープンで、大坂なおみ選手が優勝し、世界ランキング1位という快挙を成し遂げました。テレビで試合やその後のインタビュー、これまでの生い立ちや戦績等を観た人も多いのではないのでしょうか。

大坂なおみ選手の戦績を観てみると、日本のテレビに取り上げられ注目され始めた当初は、なおみ節と名付けられたインタビューの様子からうかがえる人柄と、試合中思うようにならないときの精神的なもろさが目立った気がします。しかしながら、ここ1・2年の精神面での成長は著しく、今回の全豪オープン決勝でも、大きな声を出し自分を鼓舞する場面もあれば、あえて感情を表に出さず我慢することで冷静さを保っている場面もありました。大坂選手はまだ21歳。これからの活躍が一層期待されると同時に、今まで以上のプレッシャーに対する精神的な強さが求められるでしょう。

偶然にも、「たくましさ」について考えた皆さんにとって、大坂選手の足跡やこれからの活躍は、大いに参考になると思います。いや、他にも参考にする人は、著名人に限らず身近にもいるはずです。今まで、「志」の視点でとらえていたことを、「たくましさ」「行動」の視点からも考えてみる必要があるかと私は考えます。

今日が、本年度最後の集会です。本年度もあと2ヶ月となりました。進級、進学に備え、「志」と「たくましさ」に磨きをかけていきましょう。キーワードは「行動」です。あなたは、何を始めますか？

## ～2年生 立志の式～

2月8日(金)立志式を開催しました。2年生125名は、いろいろな経験を通して培った各自の志を作文して、事前に各学級で発表会を行いました。当日は各学級の代表14名が、今現在の志を発表しました。学校運営協議会の委員の皆さんや保護者の皆さんの前で堂々と発表することができました。青春の塔に納めた作文は成人式で返却されますが、これからの飛躍が楽しみです。



## ～車いすツインバスケ～

本校は、2020 東京オリンピック・パラリンピックの教育推進校です。2月5日(火) 車いすツインバスケットボールの選手の皆さんをお迎えし、講演会を開催し1年生135名が受講しました。お話を通して車いすツインバスケの歴史や文化に触れ、体験学習を通じて社会における「障害者スポーツ」の在り方について学ぶことができました。また、今回の学習をきっかけにオリンピック・パラリンピック教育への関心がさらに高まりました。



### 【一体校開校に向けて】

ながふじ学府一体校「制服一体化アンケート」への御協力、ありがとうございました。先日、PTAの役員の皆さんがアンケートの集計を行ってくれました。結果は、「賛成」と「条件付きで賛成」が全体の9割となりました。この結果を受けて、今後制服一体化の実現に向けて、PTAが主体となって準備をすすめていきます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

